

「三世代をつなぐ駒カフェ」のご案内

生徒に「大きくなったら何になりたい?」と聞いたらどのように答えるでしょうか。その答えは、「夢」、「希望」であり、実現するためには同時に多くの迷いにも遭遇すると思います。そこで、生徒のみなさんが大きく飛躍するためのお手伝いとして「自分で考える場と考える機会」を提供し、「人生に目標を持つきっかけ」作りをすることが出来ないかと考え、在校生、保護者、子育てを終えた人生経験者であるOB、の3世代を繋ぐ交流の場「駒カフェ」を設置しました。

現在、核家族化などの影響で、世代間、近隣住民の間の人的交流が希薄化し、兄弟姉妹も少なくなって兄弟げんかなどで切磋琢磨される機会も減っています。駒場東邦に通う生徒たちのほとんどが、一組の夫婦とその子ども、または、父親または母親とその子ども（父子世帯や母子世帯）からなる家族の一員であり、祖父母、隣近所のおじさんやおばさんたちとの会話の場がほとんどなくなっています。生徒が、様々な疑問や悩みを自力で解決できるようにするための工夫が必要であると思います。

駒場東邦では、授業による教育を補完する活動として、HR活動、学年行事、学校行事、委員会活動、部活動などを行っています。今回のプロジェクト「三世代をつなぐ駒カフェ」も、OB有志が多様な生徒の持っているそれぞれの考えや思いに寄り添い、生徒たちが、自分の夢を語ったり、他人の夢を聴いたりして、人生経験豊富なOBの助言を得ながら、様々な疑問や悩みを自力で解決するきっかけとなる活動の場として考えています。また、在校生の夢を実現するために、保護者のみなさまとOBが子育てについて意見交換する機会（保護者対象の駒カフェ）も開催する予定です。



「三世代をつなぐ駒カフェ」運営事務局

代表 黒岩 誠（駒場東邦7回生 / 前スクールカウンセラー）

平野 勲（スクールカウンセラー/学校心理士/前校長）

連絡先 komacafe1540001@gmail.com

在校生～保護者～OB 世代間交流プロジェクト
「三世代をつなぐ駒カフェ」

なぜ「疑問」? どうしよう「悩み」? 実現したい!「夢」
なぜ勉強するの? 何を学ぶの? どうして?
疑問がすべての出発点

駒カフェへようこそ

「三世代をつなぐ駒カフェ」運営事務局
代表 黒岩 誠（駒場東邦7回生 / 前スクールカウンセラー）
平野 勲（駒場東邦中学・高等学校 特別顧問 / 前校長）
連絡先 komacafe1540001@gmail.com

○「駒カフェ」は、世代を超えて同じ目線。体験ベースの気楽な話し合いの場です。

○「駒カフェ」での話題は、なんでもありです。

○いままでに話題となったことは

在校生対象では、勉強法、クラブ活動、コミュニケーション、人間関係、進路、時事問題など

保護者対象では、親子の距離感、子育てなど

予 定 Zoom を利用して開催（コロナ感染状況を見て、対面での開催に切り替える可能性あり）

第11回 2022/4/30(土) 在校生対象 第12回 2022/5/28 (土) 在校生対象

第13回 2022/6/18 (土) 在校生対象 第14回 2022/7/9 (土) 保護者対象

○土曜日の午後、月に1回を目安に開催し、状況を見て頻度も決める予定です。

○柔軟な運営で継続を図りたいと考えますので、生徒、保護者のみなさんの、ご要望をもとに、事務局が整理・軌道修正をしながら準備をします。

「三世代をつなぐ駒カフェ」運営事務局 スタッフのプロフィール

代表 黒岩 誠（駒場東邦7回生 / 前スクールカウンセラー）

卒業するとき、「先生大好き！友達大好き！でも、二度と駒東の門はくぐらない。」との想いでした。自分を無能だとは思っていませんが、頭のいい奴ばかりがゾロゾロいるところでは足掻く気にさえなりませんでした。大学には8年間在籍し、どう生きるかを決めることが出来ました。「先生大好き！友達大好き！駒東大好き！」なので、駒東OBの身分で活動させていただきます。

中村憲治（駒場東邦7回生 / 元駒場東邦 社会科教諭）

駒東中学の時 K 先生から 古美術・小説・仏教などの礎を教わりました。その後の私の関心は常にそこから出ているのだと今痛感しています。“人間にとって一番大事なことはなにか？” 一生の命題も与えられました。すべて順風満帆で生きていける人はまずいません。多かれ少なかれ悩み苦しきも だえる青春が君たち生徒諸君にくるでしょう。そんな諸君の話を私は聴きたい。

他人に対しても自分自身についても、人間を一つの物差しで測ってはいけないということを伝えたい。君たちはひとりひとり豊かな潜在力を持っています。目の前のことで右往左往する必要はありません。そんなことを語り合いましょう。

角本 繁（駒場東邦7回生）

幼少時代の興味は、昆虫や工作で、その後に天文が加わりました。天文学、生物学、数学と迷い、大阪大学では生化学を専攻し、クラブ活動が天文でした。大学は、想像を超えた楽しい場でした。卒業後は、日立製作所に所属して、手作りでコンピュータによる地図情報処理（当時、世界中で取組みは稀）を始め、住宅地図処理、カーナビ、防災システムに展開しました。趣味は、天体観測（皆既日食、オーロラ）、登山（20代にマッターホルン登頂）、スキーです。駒カフェでお会いしましょう。

眞木正喜（駒場東邦7回生 / 元邦友会会長）

慶応義塾大学経済学部卒、(株)日立製作所に入社。情報サービス関係の仕事についたが、自分を大きく変えてくれたのは、42年間の仕事の3分の2以上の期間に亘り携わった情報サービス事業のグロー

バル化と東京大学との共同研究で「知」について学ばせて戴いた事でした。生徒の皆さんと「グローバル化」とは何かを話し合い、共に視野を広げていきたいと思っています。

深瀬久敬（駒場東邦7回生）

上智大学理工学研究科修士課程（電気電子工学専攻）卒、富士通（株）に入社。主にコンピュータハードウェアの設計自動化システムの開発に従事。今現在は、不動産賃貸業深瀬（株）代表取締役、人間地球社会倶楽部代表。趣味は、俳句、囲碁、ゴルフ、TV録画鑑賞、音楽鑑賞、等。放送大学で哲学関係など15科目を履修。駒東在学中は、なぜ受験勉強をするのか、かなり悩みました。大学在学中は、柔道部に所属し、大学紛争の渦中ではかなり鍛えられました。

高下 梓（公認心理師 / 臨床心理士 / Zoom ミーティングの技術担当）

代表のご指名で「皆が安心してZoomに集まれるように」とお手伝いしています。心理・教育・医療等の仕事をしてきました。駒カフェでは運営支援に徹していますが、親戚のおばさんのような世代ですので、生徒とOBの橋渡し役になれば…と思っています。

平野 勲（スクールカウンセラー / 駒場東邦中学高等学校 前校長）

大学を卒業後、都内の私立高校の数学科教諭として奉職。1991年に駒場東邦中学高等学校教諭として赴任。数学教育に携わる傍ら、進学指導係主任、教務部長、中学教頭、校長を歴任。ガイダンスカウンセラー/学校心理士。2020年よりスクールカウンセラーとして、教育相談・カウンセリングを担当。趣味は旅行・散歩。東京近郊にある公園などに出かけて写真撮影、花鳥風月を楽しみ、五感をフル活用して新発見すること。夢を語り合い、その夢を実現させましょう。私と話をしてみませんか。

○「三世代をつなぐ駒カフェ」に「参加してみたい」、あるいは、ご質問等がありましたら、いつでも、運営事務局 komacafe1540001@gmail.com 宛にご連絡願います。

○「駒カフェ」開催の1カ月前くらいに、詳細の案内を本校ホームページに掲載する予定です。

メールでご連絡をいただいた方には、開催案内をお送りさせていただく予定です。